

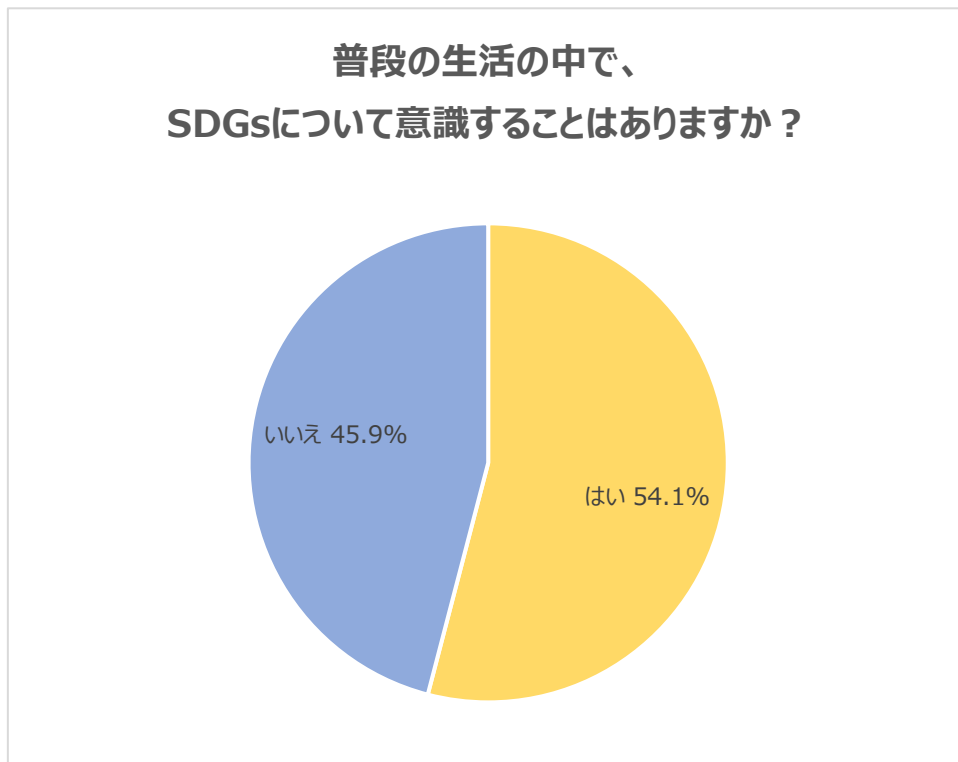
## 【2023年卒】普段の生活の中で、「SDGs」を意識している学生が半数超。17のテーマで、企業が取り組んでいると好感が持てるものは「ジェンダーの平等」が最多。

株式会社学情は、2023年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「SDGs」に関して調査しました。普段の生活の中で「SDGs」を意識していると回答した学生が半数超となりました。意識している内容としては「マイボトルを持参する」「野菜は皮まで食べる」など、環境に配慮した項目での声が多く寄せられました。また、9割以上の学生が「SDGs」に取り組む企業は好感が持てると回答。17のテーマでは、「ジェンダーの平等」「持続可能なまちづくりと地域」「不平等をなくす」への関心がより高いことが分かりました。

### 【TOPICS】

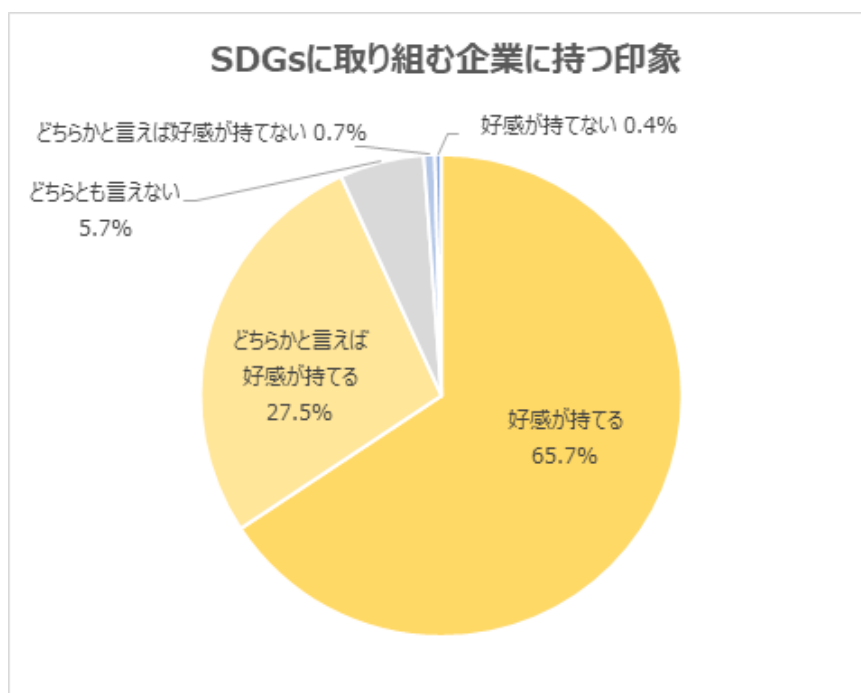
- (1) 普段の生活の中で、「SDGs」について意識している学生が半数超
- (2) 「SDGs」に取り組む企業に「好感が持てる」と回答した学生が 93.2%
- (3) 17のテーマについて、取り組んでいるとより好感が持てるものは「ジェンダーの平等」が 56.5%で最多。次いで、「持続可能なまちづくりと地域社会」が 47.6%で続く

#### (1) 普段の生活の中で、「SDGs」について意識している学生が半数超



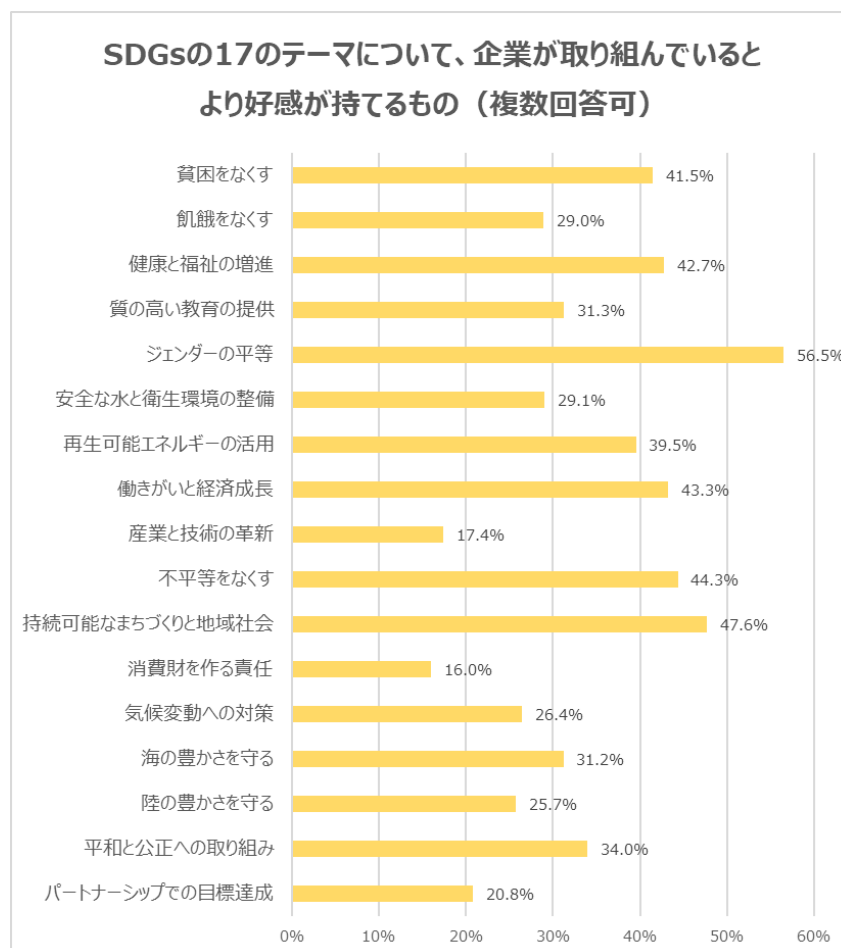
普段の生活の中で、「SDGs」について意識すると回答した学生が半数を超え、54.1%となりました。意識している内容としては、「エコバックを利用する」「マイボトルを持ち歩く」「野菜は皮まで食べる」「食品ロスを防ぐ」「エアコンの温度を高め設定する」など、環境に配慮する声が多く寄せられました。

## (2) 「SDGs」に取り組む企業に「好感が持てる」と回答した学生が 93.2%



「SDGs」に取り組む企業に持つ印象について、「好感が持てる」の回答が 65.7%、「どちらかと言えば好感が持てる」の回答が 27.5%となりました。9 割超の学生が、「SDGs」に取り組む企業は好感が持てると感じていることが分かります。

## (3) 17 のテーマについて、取り組んでいるとより好感が持てるものは「ジェンダーの平等」が 56.5%で最多。 次いで、「持続可能なまちづくりと地域社会」が 47.6%で続く



「SDGs」の17のテーマについて、企業が取り組んでいるとより好感が持てるものは、「ジェンダーの平等」が56.5%で最多。次いで、「持続可能なまちづくりと地域社会」47.6%、「不公平をなくす」44.3%と続きました。

#### ■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2023（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021 年 6 月 25 日～2021 年 7 月 29 日
- ・有効回答数：936 名

東証一部上場

学情

